

対象となる大型研究計画の考え方

	2010、2011年	2014年	2017年	2020年
定義	<p>【大型施設計画】 大型の研究施設・設備を建設・運用することで科学の最先端を切り開く研究計画。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学術分野のビジョン・体系に立脚した大型研究施設計画 ・施設の建設（装置、設備、運用費等を含む）を行う計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・学術分野のビジョン・体系に立脚した大型研究施設計画 ・施設の建設（装置、設備、運用費等を含む）を行う計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・学術分野のビジョン・体系に立脚した大型研究施設計画 ・最先端の研究を開くことを目的とし、科学者コミュニティの合意の下に、大学共同利用機関等が主体となって大型施設及びそれに付随する装置や設備を建設・整備し運用する、多くのコミュニティの研究者に共用される計画
	<p>【大規模研究計画】 大分野の根幹となる大型計画であり、大規模な研究基盤設備の設置、研究ネットワークの構築あるいは膨大な研究データの集積を行い、これらを運用することで科学の最先端を切り開く研究計画であること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学術分野のビジョン・体系に立脚した大規模研究計画 ・大型研究施設計画科学研究費補助金等で実施困難であり、個別研究プロジェクトの枠を超えた大分野の根幹となる、設備、ネットワーク構築、データ集積、運営費、人件費等を必要とする計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・学術分野のビジョン・体系に立脚した大規模研究計画 ・科学研究費補助金等で実施困難であり、個別研究プロジェクトの枠を超えた大分野の根幹となる、設備、ネットワーク構築、データ集積、運営費、人件費等を必要とする計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・学術分野のビジョン・体系に立脚した大規模研究計画 ・学術分野の研究者が一致して認める重要課題について、長期間にわたって多くの研究者を組織し観測や研究を推進する、あるいは大規模なデータ収集組織やデータベースを構築し、その効果的な利用を推進する等、大きな規模の計画的研究の展開によって新たな知を想像する計画
予算	<p>【大型施設計画】 運営費を除く建設費総額が目途として100億円（物質科学など分野によっては、数十億円）を超える規模の計画であること。</p>	予算総額数十億円超（特に上限は定めない）	予算総額数十億円超（特に上限は定めない）	予算総額数十億円超（特に上限は定めない）
	<p>【大規模研究計画】 初期投資および運営費等の経費を含め、総額数十億円以上の経費を必要とし、科学研究費補助金等では実施が困難な研究計画であること。なお、分野により必要とする予算規模は異なるので、上記の総額は一つの目安と考えて良い。</p>			
実施期間	—	5－10年程度	5－10年程度	5－10年程度
科学的目標	明確な科学目標により、真理を探究し人類の知的資産を拡大する計画であること。	<p>申請様式【学術的意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> -期待される研究成果等さまざまな効果や意義 -他の学術研究分野への波及効果 <p>評価項目【学術的価値】</p>	<p>申請様式【学術的意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> -期待される研究成果等さまざまな効果(他の学術分野への波及効果を含む)や意義 <p>評価項目【学術的価値】</p>	<p>申請様式【学術的意義】</p> <ul style="list-style-type: none"> -学術的重要性、期待されるブレークスルーと研究成果及び様々な効果(他の学術分野への波及効果を含む)とそれらの意義 <p>評価項目【学術的価値】</p>
国際的水準・国際連携	<p>【大型施設計画】世界状況に照らし十分な先進性と独自性を持ち、効果的国際連携が可能であること。</p>	<p>申請様式【研究動向、国際協力・国際共同】</p> <ul style="list-style-type: none"> -国内外の研究動向と当該計画の位置付け -国際協力・国際共同の形態ないし体制、想定される日本の役割、現在の国際的状況、その他の海外動向等 <p>評価項目【学術的価値、（国家としての戦略</p>	<p>申請様式【研究動向、国際協力・国際共同、国家としての戦略性・緊急性】</p> <ul style="list-style-type: none"> -国内外の研究動向と当該計画の位置付け -国際協力・国際共同の形態ないし体制、想定される日本の役割、現在の国際的状況、その他の海外動向等 <p>-政府の政策における位置付け</p>	<p>申請様式【研究動向、国際協力・国際共同、国家としての戦略性・緊急性】</p> <ul style="list-style-type: none"> -国内外の研究動向と当該計画の位置付け -国際協力・国際共同を伴う計画の場合は、その形態と体制、国際的要請と国際的状況、想定・期待される日本の役割等 <p>-政府の政策における位置付け</p>

	【大規模研究計画】世界状況に照らして十分な先進性と独自性を持ち、我が国として推進すべき研究計画であること。	性・緊急性)】	評価項目【学術的価値、(国家としての戦略性・緊急性)】	評価項目【学術的価値、(国家としての戦略性・緊急性)】
研究者コミュニティの合意	研究者コミュニティの十分な検討と議論を経て合意が形成された計画であること。	申請様式【科学者コミュニティの合意状況等】 評価項目【科学者コミュニティの合意(他の提案との重複の有無を含む)】	申請様式【科学者コミュニティの合意状況等(他の提案との重複の有無を含む)】 評価項目【科学者コミュニティの合意(他の提案との重複の有無を含む)】	申請様式【科学者コミュニティの合意状況等(他の提案との重複の有無を含む)】 -コミュニティの定義を述べ、その中で、どの程度の広がりを持つ範囲(学協会として、学協会の分科会として、研究グループとして、等々)でどの程度の合意(正式な合意が得られている、合意を得るべく準備中、等々)が得られているかについて具体的に記載 評価項目【科学者コミュニティの合意(他の提案との重複の有無を含む)】
計画実施の主体	計画を実施する主体組織が明確であり、かつ責任を果たす用意があること。	申請様式【実施主体の明確性】 -主な実施機関と実行組織(複数の機関名の記載も可)。特に実施の中心となる機関名と実行組織の役割を記載(研究者の個人名は不記載) 評価項目【計画の実施主体、(実施主体の明確性(責任を果たせる体制になっているか))】	申請様式【実施主体の明確性】 -主な実施機関と実施体制(全ての機関名の記載を可)。特に実施の中心となる機関名と実行組織の役割を記載し、実施の中心となる機関が責任を果たせる体制であることを具体的に示す。 評価項目【計画の実施主体、(実施主体の明確性(責任を果たせる体制になっているか))】	申請様式【実施主体の明確性】 -主な実施機関と実施体制(全ての機関名の記載を可)。特に実施の中心となる機関名と実行組織の役割を記載し、実施の中心となる機関が責任を果たせる体制であることを具体的に示す。 -実施の中心となる機関においてどのレベル(機関レベルとして、研究科・部局等のレベルで、研究グループのレベルで、等々)でどの程度の合意(正式な合意が得られている、合意を得るべく準備中、等々)が取られているかについても具体的に記載 評価項目【計画の実施主体、(実施主体の明確性(責任を果たせる体制になっているか))】
共同利用体制	完成後、共同利用運用などコミュニティによる効果的利用が期待できること。	申請様式【共同利用体制】 -全国の研究者にどのように裨益するかを記載 評価項目【共同利用体制の充実度】	申請様式【共同利用体制】 -大型施設計画の場合は、共同利用体制の充実度について記載。大規模研究計画の場合は、共同利用体制があれば記載 評価項目【共同利用体制の充実度】	申請様式【共同利用体制】 -共同利用体制の体制、運用計画、準備状況について記載 評価項目【共同利用体制の充実度】
研究計画の妥当性	全体として実現性・計画性・推進体制が妥当であり、透明性が確保されていること。	申請様式【所要経費、年次計画等】 評価項目【計画の妥当性】	申請様式【所要経費、年次計画等】 評価項目【計画の妥当性】	申請様式【所要経費、年次計画等】 評価項目【計画の妥当性(装置等の開発・製作・設置だけでなく、運用計画と共同利用体制の充実度、その後の計画(雇用、人材育成等を含む)それぞれに必要な期間や予算措置についての観点も含める)】
社会的価値	—	申請様式【社会的価値】 -国民の理解、知的価値、経済的・産業的価値等を記載 評価項目【社会的価値(国民の理解、知的価値、経済的・産業的価値等)】	申請様式【社会的価値】 -国民の理解、知的価値、経済的・産業的価値等を記載 評価項目【社会的価値(国民の理解、知的価値、経済的・産業的価値)】	申請様式【社会的価値】 -国民の理解、知的価値、経済的・産業的価値、SDGsへの貢献等、該当するものについて記載 評価項目【社会的価値(国民の理解、知的価値、経済的・産業的価値、持続可能な開発目標(SDGs)への貢献等)】

成熟度	—	<p>申請様式【これまでの準備状況】</p> <p>-現在計画がどの段階にあるかを、1) 中心メンバーによる企画段階、2) 研究者グループの具体的検討による企画書段階、3) 一定の準備資金（明記の事）を得ての技術開発等の開発・準備段階、4) 計画の全容が定まり予算要求段階、などの段階を明記の上、準備の現状を具体的に記載</p> <p>評価項目【（成熟度）】</p>	<p>申請様式【これまでの準備状況】</p> <p>-これまでの準備状況を選択（1）中心メンバーによる企画段階、2）研究者グループの具体的検討による企画書段階、3）技術開発・計画の一部試行を含む準備段階、4）計画全体の予算要求段階）</p> <p>-準備の現状を具体的に記載</p> <p>評価項目【（成熟度、予算化のための準備状況）】</p>	<p>申請様式【これまでの準備状況】</p> <p>-これまでの準備状況を選択（1）中心メンバーによる企画段階、2）研究者グループの具体的検討による企画書段階、3）技術開発・計画の一部試行を含む準備段階、4）計画全体の予算要求段階）</p> <p>-準備の現状を具体的に記載</p> <p>評価項目【（成熟度（予算化のための計画の準備状況についても観点に含める））】</p>
-----	---	---	--	---